



一歩前進

第1号
4月24日発行
文責:林

重点目標:自分も人も大切に考動(こうどう)する湯小っ子
育てたい資質・能力:共感力(やさしく) 探究力(かしこく) 協働力(たくましく)

『一歩前進』を胸に

令和8年度となり、一つ上の学年として、思いも新たにスタートを切った子どもたち。それぞれに目標を設定し、その目標達成に向けた取組を始めたところです。

今年度最初の職員会議では、愛言葉を「考動につながる『一歩前進』」とすることを全職員で確認しました。「郷土を愛し、互いに支え合い、高め合い、未来を創る児童の育成」という学校教育目標に向けて、職員一同、努力してまいります。



「どうぞ、よろしく願いいたします」

現在、令和8年度に実施(★)あるいは予定(☆)されている「自分も人も大切に考動する湯小っ子」を目指した「一歩前進」の具体策を一覧でお知らせします。

★春の遠足 ※ 遠足に出発する前に体育館で歓迎会を行いました。	子ども同士の交流と、子どもが地域を巡り、地域の「人・もの・こと」に興味を持つきっかけづくりを目的に、縦割り班10グループを編成し、地域を巡りました。遠足の途中、芦北町多目的研修センター、前田プロパン、松下石油、文化堂薬局、ファミリーマートで、施設やお店の方と挨拶を交わす場を設けました。写真のように、ゴールの藤棚の下に集まり、その後、お弁当と、しばしの縦割り遊びで交流を深めました。
★地域理解 (旧家庭訪問)	これまで、ご多用の中、時間を割いていただいていた家庭訪問を取りやめ、職員自身がお宅の確認をさせていただくように変更しました。ただし、面談を希望されるご家庭に関しては、ご来校いただきました。
☆三者面談 (9/24~10/2予定)	前期(4月~9月)のお子様の学校での伸びや頑張り、本人・保護者・担任の三者で共有する場を設定する予定です。その際、お子さんが記述したキャリアパスポートも提示し、今後の目標等について話し合う機会とします。「前進しよう」とするお子様を、保護者と学校で共に応援する機会にしたいと考えています。
☆学年委員の湯小っ子フェスティバルへの参加	それぞれの学年で行っていた学年行事を廃止し、PTA 学年委員の皆さんには、湯小っ子フェスティバルの運営と当日の参加により、フェスティバルを盛り上げてもらうこととなりました。PTA 学年委員の負担軽減も考慮しての取組です。
☆持久走大会 (2/12予定)	コロナ禍前に、行っていたヘルシーパーク裏の川沿いの「あか道」(舗装道)を利用して、地域の皆さんの応援と、PTA 等の見守りの中で、実施することで、「子どもの元気を地域に届ける」場にしたいと考えています。

『共育(きょういく)』のお願い



今年度も、保護者の皆様と一緒に、「子どもを学校と保護者で共に支えながら育てまいるましよう」。そこで、お願いしたいことがあります。

◎全職員、お子様の健やかな成長のために、全力を尽くす覚悟ではありますが、指導に対して、疑問や異論を持たれるようなことが全くないとは言えません。また、家庭教育で悩まれることもあるかと思えます。そのような時は、どんな小さなことでもかまいませんので、担任や管理職などへご連絡ください。お子様を中心におき、どのように対応すべきか、共に考えてまいりましよう。相談内容によっては、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーといった専門家につなぐことも可能です。SNS 等への過度な信用には、注意したいものです。

◎担任等へのご不満やご批判についてお子様に伝えられることはご遠慮いただき、管理職へ相談願います。「共に育む」体制を学校と保護者で築いていくことが重要であると考えます。

元気な10名の新一年生が入学しました



◎きちんと並んであいさつ

給食室の前で整列し、「1年生です。給食の準備ありがとうございます」と大きな声で言って、おかずや食器を友達と協力して学級まで運んでいます。



◎遠足☆

暑さに負けず、元気に歩ききりました(春の遠足)



◎4月23日(木)
令和8年度1回目の
「朝の読み聞かせ」☆

元気なあいさつと姿勢のよい聴き方ができていました。



令和8年度 芦北町立湯浦小学校 職員



左上より

坂本(事務) 本山(理科) 木下(ひまわり2) 上村(ひまわり1) 宮田(養護) 鉦本(業務支援) 福嶋・浅野・平生(授業支援) 高野(校務) 緒方(ひまわり1) 寺本(5年) 塩村(3年) 田浦(1年) 林(校長) 坂田(教頭) 中村(2年) 本島(4年) 島田(6年)